京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 松久一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社
電話六六三番 振替口座京城四五六番
仁川支局 仁川宮町三丁目 電話二一一番

◀總督政治と世論（六）

四月十六日毎日新報所報

▲總督府の壓迫▼

總督府が苦しく言論を壓迫せるに對し批難の聲を發する事まれであるが、朝鮮言論界に於ては曾て言論を壓迫したる爲めに具さに苦き經驗を嘗めたり、今總督府が言論を壓迫しつゝあるは未だ其經驗を有せざるが爲なれども此の如き壓迫は總督府を利するものに非ずして之が爲に却て益ふ可からず損害を被ることあるを爾かに自覺せざる可からず

▲寺内子に▼

四月十六日朝鮮新聞所載

寺内子に對する非難が絶えない、吾輩は二年前の議會の折言ふた事がある、寺内子は能める氣か其實業道び實業に密徹な所があると、能めるかと言ふた吾輩の說は當らなかつたにしても實徹性の氣の臭につく事は寺内子たる者若し將來にあらば之を愼むべきであらう

●蕞仙人の仙術の理法

余の觀たる片田源七氏の實驗に就て（三）

福田山水

▼蕞仙人の審査に投ける實驗のつゞき

▼（三）白刃踏み　一振りの日本刀を舞台に持ち出し、觀客に先づ其刀身の檢査を乞ひ異狀無きを確めたる後、觀客の一人をして其柄を握らしめ、白刃を上方に向けて舞台の板の間に堅く抑へ置かしめ、然る後蕞仙人は體製のステッキを以て上半身を前方へ少しく斜に支へながら、爪立ちてひと二三回、シラハに觸るゝ位踵の部分にして足指は板の面を離れず終始爪立ちたる姿勢を持す、演技二回踊に異狀なし

▼（一）白刃握り　左右の兩手に尺八寸位の日本刀の鋒先きより五六寸の處を素手を以て握り縱横に打ち振りつゝ舞台を馳せ廻り、又左右に持てるシラハを首の左右にあて或は頭にあてがひ又は耳の上にもたせなどして舞台を馳せ廻る

▼（五）白刃の階段登り　七八本の日本刀の拔き身を以て造りたる階子を素足の儘にて昇降す、其昇降の態度を見るに出來得る限り極めて靜かに是を爲し、十分の注意と警戒とを怠らざるものゝ如し

▼（六）熱湯探り　沸々と煮立てる熱湯を湛へたる直徑二尺位の大釜に二個の茶碗を投げ入れ、其釜底に落下するを待つて手を熱湯中に差し入れ二個の茶碗を取り出せり

▼（七）火渡り　長さ六尺巾二尺余りの大火鉢に一面に炭火をおこし置き素足を以て火中を二回往復す

蕞仙人の實驗は是だけであつた、白刃踏みと云ひ白刃握りと云ひ、或は白刃の階子登り乃至は熱湯探り火渡りなぞ若しも其實驗を目撃せず只單の其話のみを聞いた人は定めて怪異の眼を睜るであらう、併し是には夫れ〳〵至當の理拔があつて別に神變不可思議な出來事でもないのである（つゞく）

●早稲田大學の通信教育

毎年三四月の頃を以て全國の小學校より送り出さるゝ幾十萬の卒業者にして進んで中學校若くは實業學校に入らんと欲する者夥からざるも然も此等の學校は年一年不足を告げ鎬に入學の實力ある學童すら選拔試驗の下に斬く幾部分に限り入學を許可せらるゝ有樣なれば之に漏れたるもの〳〵不幸や更云ふべくも非ず早稲田大學が其校外教育の一方法として多年の經驗の下に發行しつゝある「中學講義」「實業講義」の兩講義錄は即ち此缺陷を補ふの一手段と云ふべく聞く所によれば上記の講義錄に就き所定の年限を修業せる青年にして同大學に進みて校内生たるもの或は中學師範學校に入學し又教員檢定試驗普通文官試驗等に合格したる者も尠らずと云へり而兵本月より新學期に入り既に第一號を出し目下盛んに校外生を募集しつゝあれば希望者は同大學出版部へ申込み規則書を得て詳細の事項を知るべし

外事一束

△暴徒●　叛徒は優勢に福建に於て騷擾をなし米國との事端を醸し以て政府を…
△頭領●　せんとの策を講じをれりと墨西哥政府の爲には甚だ痛手と云ふ可し。
△倫敦●　にては淸國幣制改革を目的とする借款契約の成立を非常に歡迎し。
△財政●　家等は常に清國獨立を維持する爲能く列國間の協調を圖れと望む。
△内亂●　屢々報ずる摩洛哥の内亂益々猛烈を加へ叛徒は玉宮攻擊の準備中。
△鎭定●　佛國三艦隊酒番区の騷擾は一先づ靜謐に歸したるも政府は安心せず。
△再起●　に備ふる爲にエペルチー附近駐屯軍隊を遣りて大に警戒をなせり。
△暴動●　土耳古軍隊續々派遣せられたれどもエルバニヤ叛亂今に鎭靜せず。
△觀察●　巴里電報によれば佛國大統領はチユニスを觀察の爲同地に向へり。
△大捷●　土耳古の官軍は叛軍の大團と戰ひ其首領三名殪し叛徒北方に遁走。
△攻擊●　露國議院は首相ストリピン伯の遂意的行動に付て不滿足決議をす。

◎新刊紹介

△早稲田中學講義　二個年間にて中學科程を自修せしむる目的を以て發行されしもの文章平易講義通俗小學卒業者は直ちに之を通讀することを得べし而かも講師は何れも當代の專門大家にして之れに依て學へば中學卒業者と同一の學力を收むることも容易なり（一箇月壹十錢東京牛込早稲田大學出版部）
△早稲田商業講義　模範的商業家の養成を目的とし發行せらるゝものにして文章字句簡易にして平易趣味實用の三點を主眼とし講義は早稲田の大學講師を始め著名なる學者實務家親しく執筆せられたれば他の講義錄と其撰を異にす商業家子弟は必ず之に依りて新智識を養成せよ（東京牛込早稲田大學出版部一箇月五十錢）

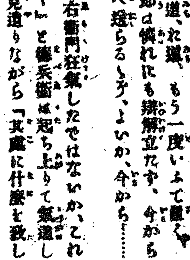
●漢陽吟社第十六集

花儒園選（二）

俳句

唄もなく男はかゝの花摘哉　如寒
嵐はみな花のかはりや嵐山　梧竹
白箸に挾みわけたる露かな　千韓
日を脊に女のならふ茶摘哉　朝松
曇るは村さわかすむ霞哉　牛郷
定宿も當にはならず霞哉　郷松
人ふなの心得かゝる露生哉　都女
薄宿の一人香摘む新茶哉　西郷
口笛を蜂にならして茶摘哉　梧竹
番守の声は人に隠て茶摘哉　都天女
痩た牛…伴寒かる茶摘哉　兩郷
花七日立ともなしに廃し晃　牢都
竹枝の一ふしきり…霞哉　如寒
雨奥…羽織ほしけり花の宿　郷寒
花咲や…たゝ京都…　都寒
…花の山…　竹水
…花の山…　米竹
…　梧…





召使お初　第五十回

黒法師

…佐十郎の一行は知らず德右衞門の大脇れ什麼事をかつと聞き、若葉塞の如く繁り、花は…見る…牡丹の香は何處からともなく…夕曇…手水鉢の上を飛ばす…平生に見ぬ思ひかひの物凄さ、此方をきつと見詰め居たりき。

『其處に居るは德右衞門でないか』されど德右衞門は父の詞すら耳に入らざりき。

『た道、れ道、もう一度いふて聞くや佐十郎は倒れにも辯解立たず、今から會所へ還らるゝ矛、よいか、今から……』

『德右衞門在氣したではないか、これよ〳〵』と德兵衞は起ち上りて氣遣しげに見遣りながら『其處に什麼を致し居るな』

『れゝ』と初めて心付いて『親父樣か』『私ちや氣を沈着け、こなた其處に什麼をしてある』

『親父樣まだ御存じでございませぬか、この庭の中へ盗人が入つたのでございます』

『ねゝ、庭の中へ……れ客來の混雜に紛れて何かを物せし心ぢや喃』

『これに相違ございませぬ、然もこの盗人がれ道の兄でございます』

『ねゝ』と德兵衞は我耳を信ぜぬほどに驚き『れ道ぞの兄御前、滅相ない事云はぬもの、こゝに正木樣御新造も在らせれば、れ道ぞのも一座してある』

『れ道が……れ道が……』と德右衞門は上の空を行くやうに身を進めて『これに在るでござりまするか』



『いかにも此處になや、こなた道上…てあるでないか』

『れ道に申すことござります』と德の外より伸び上り〳〵裡面を見て『れ道其處にか、こなた心は鬼、什麼とも恐ろしい女ぢや喃』

れ道は一圖に伏目となりて、れ力はヒつと見詰めつゝ。

『れ道、こなた德右衞門どのに什麼か云ふたの、今のれ詞、甚うれ恨みのやうにも見ゆる、事情あるか』

れ道は洗と垂頭れぬ、德右衞門の眼は愈よ光り、德右衞門の聲はいよ〳〵…

『れ道みにわらねばなりませぬ』

『れ道みにわらば申さう、私も…か實に來はらねばなりませぬ』

『れ道みにわらば申さう、私も德右衞門、無いてをを有るやうに云ひ立て、れ道ぞのに傷は付けぬ、現在…千鳥佐十郎どの、當家客來の混雜を付け込んで、當日中盗人に入りなされ…』

『ねゝ』とれ力は起ち上りて『そりや眞實でござりまするか』

『これ〳〵』と德兵衞は氣を付け『低…

銳く。

『返答ないは兄を見捨てる心と見た、親父樣この美しい縹緻に御油斷なされてはなりませぬ、れ道は兄殺しの罪人…家には置かれませぬ、暇をれ出しなされませ』

『はて心を得ぬ、德右衞門どの御口上とれ力は假髪容を改め『聞き捨てにも致されぬ、娘れ道何時左樣な罪を犯したでござりまするな』

『正木樣御新造、何事も御存じ無いでござりまするな』

『貧乏ごろ致せ、れ道に限つて道に外れた行爲致すとは思はれぬ、これを今のやうな惡口、一家の耻辱、此分ではさしも置かれぬ、れ道に罪科あるかないか…の事とは違ひ、旦那樣のれ名にも關はる、御浪人ころ爲され、以前は歷々の御家など云ひ出して、取り返しの付かぬ不調法致すまいぞよ』

『あなたは什麼も御存じござりませぬ、動かぬ證據は當人を引つ捉へ、店の番頭を呼びに遣つた處、牡丹畑に括り付けて今自身の心得、佐十郎どのを生すも殺すも心一つにある事でござります』

『はての、御子息佐十郎どの牡丹畑にお在りかの』

『儂言はござりませぬ、夫れとても最早ござりまするなら、一目御覽なされませ』と德右衞門は…

東京電報（廿一日）

▲東宮樺太行啓　東宮殿下は來る六月初旬軍艦香取に御坐乘、高雄艦供奉し樺太に行啓の事に御治定相成たる由洩れ承はる因に北海道行啓は一應東京に還啓の後更に行啓あらせらるべし

▲遣英艦隊の行程　遣英艦隊は昨日シンガポールを發しコロンボに向へりとの公報ありたり

▲東宮妃殿下御快方　東宮妃殿下には益々御快方に向はれ最早御心配の恐れなしと承はる

▲桂首相等陞爵　本日宮中に於て左記の陞爵ありたり

陞敍公爵　侯爵　德大寺實則
同　同　桂太郎
同　侯爵　伯爵　小村壽太郎
同　伯爵　子爵　寺内正毅
同　子爵　渡邊千秋

▲總督府の改革說　朝鮮總督府内に大改革あり大官連に二三罷免あるべく其發動は近々發表さるべしとの風說當地官僚間に盛なり

▲寺内總督歸任期　寺内總督は昨夜伊勢大神宮其他に向ひ出發廿七日歸京すべく朝鮮歸任は多分五月十日頃の豫定なり

▲愛國婦人大會　愛國婦人會は來る五月九日總會を開く事に決定したり當日は　皇后陛下を始め奉り韓國李王妃殿下各皇族台臨遊ばさるゝ由洩れ承はる

▲北海道長官と吉原氏　河島北海道長官の後任には吉原東拓副總裁任せらるゝの說多し

▲暴行事件落着　奉天暴徒暴行事件は我が要求通り全部解決の旨昨二十日小池奉天總領事より外務省に公電ありたり

▲朝鮮棉花會社創立　朝鮮棉花會社創立委員會は昨日事務所に於て開會し株式申込割當拂込期其他取扱銀行指定の件等を付議し幹部に一任することに決定し散會せり

雜報

●農事經營談

新潟縣人にして三十七年以來全羅北道臨陂郡に農事を營み居れる河崎卷三郎氏を訪ひ其談を聞く曰く

▲實驗上の感得　予が該地方に土地を求め農業を開始せしは今を距る八年前則ち明治三十七年の事に屬す當時は四圍の狀勢尙は甚だ危險なりしと土着朝鮮人の頑冥との爲め尠からざる困難に遭遇せしが時勢の進轉は如上叢多の外的障害を排除し得現今にては極めて無事に而かも所大目的の彼岸に到達せんとするの幸福を見るに到りぬ乞ふ少しく此間に得たる實驗上の感得を語らんに當初の方針は自己所有の土地を有利に導く可く其手段として内地人農夫數十名を引率し來り直營の農園を開拓し所屬小作人の模範たらしめんとせしが以上農夫中郷里の事故に依り或は病氣に妨げられ若しくは不心得等の爲めに永久的に定住する能はず從つて當初の期待をして空しく失敗に歸せしめたり斯かる事情の爲めに内地移民の到底頼むべからざるを感じ爾來直接朝鮮人を指導して穩當の改良と始め萬般の施設を爲さしめ居りしが意外の効果を奏し近來にては却つて舊態固守の不利益なるを覺り何等の不便をも見ざるに到れり則ち始めの間は内地人農夫の渡來に待たざれば到底朝鮮農業の改良は困難なるべく思惟せしに實驗の教訓は毫も彼我の區別なく指導宜しきを得ば朝鮮人と雖も優に改良の見込み明かなるを說得したり而して朝鮮に於ける農事經營は漫然内地獸を以て律し能はざる事情多く先づ第一期に在ては暴徒火賊等の危險に妨げられ或は又頑冥固陋にして些の向上なき彼等を相手とせざる爲め言ふべからざる困難に遭遇せしも是等の故障は既に除却せられたれば今後は唯だ彼等と直接相親しみ之を啓導して地方富源の開拓に努めんのみ

▲東拓會社に希望　茲に於てか予は東拓の前途に對し多大の期待を寄すと共に其成否如何を憂ゆるものなり元來同社は朝鮮開拓の一機關として國家は之が爲めに多額の補助金を給與す然るに其實蹟に顧みれば非難々々として耳を掩ふに遑あらざるが如し思ふに其原因は那邊に在るかといふに創設以來唯だ小作料の取立を爲せるのみにて何等國家的機關らしき施設を爲さゞりしに依らん而して本年に到り漸く移民を開始せるが其成績如何は予等一般農事經營者に多大の關係を有すを以て極力其成功を祈らずんばあらず則ち同社の措置宜しきを得ば自然其地方の繁榮となり延いて一般を潤ふす所以なればなり若夫れ同社は濟々たる多士を以て組織されつゝあれば萬此憂なきを疑はざるも而かも從來の施設を顧るに兎角躊躇多くして船を山に漕ぎ上ぐるが如き事實尠からざるを見る此際同社に對し多少の意見なきに非ざるも僅かに本年を以て設立本然の目的に向へる事なれば輕々しく批評するを避け只だ一片の希望を述べ以て其成行如何を見んと欲す

●定例長官會議　二十一日午前十一時總督府に於て定例長官會議を開き山縣政務總監、倉富、石塚、荒井、宇佐美、小松、池田の各長官明石總長菊地小城の代理依田總裁列席政務の打合せを爲し午後一時散會

●廣梁灣の近況　結氷中は寂さして振はざりし廣梁灣の市況も昨今同地の鹽田工事の進捗と共に日鮮人の移住者日に激增し一般に非常の盛況を呈し居れりと今同地警察署の調査に係る三月末現在戸口を聞くに日鮮人を通じ戸數八百十三戸人口二千四十七人と算せられ尙續々激增しつゝありと

朝鮮人の母國產業視察　東洋拓殖株式會社主催

新領土朝鮮の經濟力を發達せしめ其民族を同化せしめんには荒廢せる各種產業の改善復興を期圖すると共に内地の穩健なる人士と接觸親和せしむるより良法なるはなし而して之を實行せんには内地の善良なる農民を移住せしむると同時に新附の朝鮮人をして内地に於ける都市町村の情況、地方事業の狀態及產業發達の狀勢を視察せしめ親しく内地人と應接せしむるより捷徑なるはなし東洋拓殖株式會社は昨年其所有地に關係ある郡守、面長、篤農者二十四名を福岡、岡山、兵庫、大阪、京都、滋賀、岐阜、愛知の二府七縣に於ける地方農業の狀態及び產業發達の況狀を視察せしめしに彼等は大に感奮し歸來各其地方人民を集め觀察の結果を詳說し、產業の改善復興は一日も緩ふす可らざる所以を鼓吹し且つ日本内地人士の誠實懇篤なる待遇は大に彼等を感激せしめ我民情の疏通親和上に多大の効果を收めたりしが總督府に於ても此種の計畫を以て最も機宜に適したりと爲し相當の計畫ありしも寧ろ東洋拓殖會社に主催せしむるを適當なりと認め多大の便宜を與へられしを以て同會社は今回更に全十三道より百三十名の視察員を募り前回同樣内地の郡市町村の狀況、地方事業の狀態及產業發達の實況を視察せしむるに決定したり

△視察員の人員、資格　視察員は一道十名にして内郡守二名兩班、儒生三名實業家及篤農者、面長等五名即ち十三道百三十名之に通譯十名を附し別に之が引率者として同會社より監督一名、通信員一名會計一名通譯一名を派遣す

△部署　視察員を三班に分ち各班に指導者及通譯若干名を附す其各班人員は左の如し

第一班（平安南北道咸鏡南北道）四十
第二班（京畿道黄海道江原道忠淸南北道）五十八
第三班（慶尙南北道全羅南北道）四十

視察員を三班に分ちたるは百三十の多數を一團と爲すときは視察上徒らに混雜を來すのみにて十分の觀察を遂げしむる事能はざるの嫌ひある爲め之を部署して各別に視察せしむる筈なりと云ふ

△視察地方　は廣島縣、兵庫縣、神戸市、大阪市、愛知縣、靜岡縣、東京市、埼玉縣、京都市の五縣四市にして先つ廣島に直行し夫より順次に埼玉縣に至り歸途京都市を視察して歸鮮する豫定なり

△出發期日と視察日數　視察の途に就くは五月十日釜山より乘船下の關に上陸直ちに汽車にて廣島市に下車す全般の視察日數は三週間乃至四週間の豫定なり

△視察費用　視察に關する經費は委員其郷里出發の時より歸着迄一切東洋拓殖會社に於て支辨する由

●母國觀察希望者續出　今回東洋拓殖會社主催となり別項の如く新附の朝鮮人をして母國の事情及狀態を視察せしむる事となりしが此催しは朝鮮内地一般の注意を喚起し私費にて一行に加はりたきこと申込み來る者續出し會社に於ても其志望を諒とするも一行已に百三十名の多數あれば此上人員を增加する餘地なきを以て今回は遺憾ながら一般の希望は一切謝絶するの已むなきに至りしとなり

●朝鮮商議聯合會終了　目下開會中なる朝鮮商業會議所第十回聯合會は二十一日午後一時より當會議所樓上に於て開會したるが今會議は恰も昨冬第九回聯合會に於て協議を了したる問題事項多きもその他に新問題なきを以て一瀉千里の勢にて議事を進捗せしめ一日間を以て其の全部を終了すべく廿二日よりは大聯合會提出問題及聯合會準備等に就て協議すべしと

●全國商議聯合會日程　當地に開會せらるゝ全國商業會議所聯合會日程及代表員觀察日割左の如し

四月二十一日　下の關集合△同二十二日　午後九時梅ヶ香丸にて下の關出發△同二十三日　午前八時三十分釜山に上陸一同午前中釜山視察同地官民有志の歡迎あり晝餐の上午後一時二十分發車午後三時五十分大邱着同地視察、官民有志の歡迎あり晩餐の上午後十時十分大邱發車△同二十四日　午前六時十分京城南大門驛着、日鮮官民の歡迎を受け一同腕車にて天眞樓、巴城館、京城ホテル、旗尾、小本、不知火等各旅館に入り喫飯休憩午後　時京城日本人商業會議所に至り茶菓の饗應を受け休憩後總督邸總督府を訪問し出で市街を展望し引續き漢陽公園に至り京龍聯絡地勢觀望△同二十五日　午前隨意行動代表者數名南大門より出で市中の視察をなす△同政務總監、軍司令官、李王殿下に敬意を表す午後二時より城ホテルに於て全國商業會議所聯合會開會式を擧行し一同紀念撮影をなす△同二十六日　午前九時廣通館に於て聯合會開會午後一時李王殿下邸着茶菓の饗應を受け秘苑の拜觀をなす△同日午後六時より漢城銀行の晩餐會に參列す△同二十七日　午前九時廣通館に於て聯合會閉會終て正午閉會式を行ふ午後一時龍山に至り東洋拓殖會社農園視察晝餐饗應を受け農商工部模範農場視察午後六時京城に歸着△同二十八日　午前九時京城南大門驛發車同十一時水原着模範農場にて晝餐の饗應を受け同地を視察し午後五時二十分水原發車同七時七分京城南大門驛歸着△同二十九日　午前中自由行動正午京城ホテルに於ける總督府午餐會に參列午後二時景福宮に於ける日鮮實業家の歡迎會に參列す△同三十日　午前八時南大門通韓國銀行前に集合特別電車にて龍山視察總督官邸に於て茶菓の饗應を受け同十一時京城に歸着喫飯午後一時廣通館に於ける懇話會に出席す△五月一日　午前七時京城南大門驛發車同九時開城着開城を視察午後零時廿分開城發車（車中晝餐）平壤を經て午後六時三十五分鎭南浦着同地一泊△同二日　午前中官民の歡迎あり同地視察午後零時三十分鎭南浦發車午後二時五分平壤着官民の歡迎あり同地を視察し午後十一時平壤發車々中一泊△同三日　午前六時新義州着渡船安東縣着同地視察晝餐の上午後二時新義州發車々中一泊△同四日　午前六時五十分仁川着官民の歡迎あり滯在視察の上一泊△同五日　午前七時仁川發車同十一時太田着同地視察午後一時十分太田發車三浪津驛にて馬山八時十分馬山着一泊△同六日　馬山巡覽同地一泊△同七日　午前九時馬山發汽船にて午後一時釜山着同地視察一泊△同八日　午前九時梅ヶ香丸にて釜山發航△同九日　午前九時下の關上陸一同集合各自退散

●大會代表員出迎　大聯合會出席委員出迎の爲め京城會議所よりは中村副會頭及近藤佐五郎氏代表者として釜山迄出迎すべし

▲人さま〲▼（二十九）

木尾虎之助君

若手辯護士中錚々の聞ゆある木尾虎之助君は日本大學三十五年の出身である、麻布芋畑に產れながら其遊をも便らず獨立獨行苦學を遂げた人だ、卒業の翌年辯護士となり又警視廳に入つて役人となり更に東洋大學の講師となつて居つたが三十九年當地に渡來したのである、遊び盛りの彼の年頭にも似ず頗る謹格で茶屋酒などは振り向きもしない、ソコで斯んな人は兎角窮窟で融通が利かないものだが君に限つて夫んな事はなく、能く談じ能く笑ひ嘗て人を外らさない處大に賞すべしである、目下帝大法科に勉強して居るが學資から何から一切世話して居る、又愛妹が二人ある彼の一人の弟が此二人の妹を立派に出世さすのが君の樂みで、其責務を卸してから理想の彼岸に船を行るのだと言つて居る。

●古建築物の保存　朝鮮内地に於ける社寺官廳等の古建築物には相當の年代を經たるもの少からざるのみならず構造設計等年代の模範ともすへきものあり又古代美術上の研究に資する者もあるを以て前年度支部にては帝國大學の關野博士を聘して朝鮮内地の古跡建築物等の調査を囑託したるが博士の目的は主として建築物に非ざるを以て總督府にては今年度より繼續事業として社寺官廳等の古建築物に關し吏員を派し又相當の學者に囑託し保存すへきものを詳細調査し追て保存經費の計上を待ちて保存の計畫なりと云ふ

●東亞煙草社發展　東亞煙草株式會社にては今回販路擴張の爲め群山に販賣所を又淸津に出張所を新設し群山には平壤販賣所の次席法學士杉本亮氏其所長に轉じ淸津には主任として不遠釜山販賣所在勤者中より撰定轉勤せしむる由尙ほ過般來平安北道に出張中の同社專務佐々木喘市氏は二十日歸京せしが群山販賣所設備の爲め同所長に任ぜられたる杉本亮氏を伴ひ群山に向け廿一日出發せし由なり

●東拓の重役會議　東洋拓殖會社にては總會期も近づき監事の入京も近々なるのみならず過日出張所長會議にて決議したる事項の協議を開きつゝあり

●愛婦總會出席委員　我が社東電の如く愛國婦人會東京本部に於ては來る五月九日總會を開く事に決定したる由なるが朝鮮本部よりは代表者として兒玉氏參列すべしと

●平壤無煙炭移送高　平壤鑛業所客月中採掘の無煙炭は鐵道によりて鎭南浦に發送同地より德山煉炭所に輸送されつゝあるが客月中同所より鐵道によりて發送したる數量は九千六十二噸に達したり之れを前年度同期に比すれば實に五千四百餘噸の激增を示せりと云ふ

●仁川土地調査　仁川府所面に於て土地調査に着手せるものは長者洞（舊長川里、如意里、新基洞、阜谷里、獨脚里、不標里）新高洞、霞飛岬里、龍亭里、猫谷里、士忠洞（舊忠動里、十老里、松内洞、多所洞、宰洞、湯之洞）にて今後約二週間の日子を以て各調査結了の見込なれば右各洞内に土地を所有する者にして未だ申告書を提出せざる者は速に提出の手續をなすは勿論當に實地調査の最後に標杭（氏名を明記する事）建設等に注意し他日の悔を貽さゞる樣注意すべしとなり

●市街並樹の植付　京城衛生會にて本月十一日より着手したる京城市内街路の兩側に苗木の植付は其後結果甚良好にて鮮人等は大に此事を歡迎し進んで手傳するの有樣にて昨日までに約千五百本を植付けたるが尙本月中に植付終了の目的にて全部約四千本の豫定なりといふ

●第二艦隊來航　第二艦隊に屬する日進、春日、和泉、千早の軍艦四隻は本月三十日旅順方面より仁川へ入港し二三日碇泊の豫定なりと云ふ

●木内長官の歸期　二十日鎭南浦視察の筈なりし木内長官は急に旅程を變更し平壤より義州を視察し二十一日義州より鎭南浦に引返し同地及び廣梁灣鹽田視察の上來る二十三日歸任すべしと

●宇佐川總裁消息　南鮮農事視察中の宇佐川東拓總裁は目下群山に滯在中なり

●各銀行の聯合運動會　韓國銀行主催の京城日鮮各種銀行、共同倉庫、東拓金融部、手形組合の聯合大運動會は愈々來る二十三日（日曜日）景福宮に於て午前十時より開催の筈にて先頃より種々準備中なりしが申込者既に五百餘名に達し尙は同家族等を加算せば一千餘名に達すべく當日の運動會は定めし盛會なるべし

●玄角課長の消息　沿岸警備其の他視察の爲め出張中なりし玄角保安課長は目下鎭南浦に在り視察中なるが二十二日歸任の筈

●山林課長名の歸任期　東京へ出張中なる山林課長齋藤技師は今月末歸任すべしといふ尙山林課の靑木書記官は十九日淸津を出發したる由なり

●民團火葬場の工事　京城民團が目下萬里峴に新築中なる火葬場工事は其後大に進捗し建物は悉く棟上げを了へたれば今後は煙突、窯の据付等に過ぎざるを以て豫定の六月十日迄には優に竣成を告ぐるなるべしと

●畜產家懇親會　京龍地方在留の畜產家は二十二日午後二時より京城ホテルに於て第一回懇親會を開き畜產業の發展を期する由にて當日は農商工部及警務總監部より關係吏員出席すべしと

▲京城手形交換高▼

四月	金高	枚數
廿一日	九九、一七三、〇七	三三九

公人私人

▲村田壽吉（陸軍二等主計）廿日入京
▲山本へ
▲河上淸吉（陸軍步兵少佐）同上

▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客　廿日の分
乘車客　四六六　下車客　六五九
乘車賃金　八六四、一五
▲南大門驛荷扱高　廿日の分
發送　六一噸　到着　三八四噸
貨物賃金　八三三、一六
▲龍山驛乘降客　廿日の分
乘車客　二一四　下車客　一六五
乘車賃金　一七一、一七
▲龍山驛荷扱高　廿日の分
發送　二一噸　到着　三三三噸
貨物賃金　二二五、〇一

●正誤　前號經濟政策と大阪朝日新聞社說とあるは東京日日新聞社說となるべきものに付茲に訂正す

▲治外法權▼

其昔し黑田淸隆が開拓使長官であつた時、開拓使官有物の拂下をやつた、所が該官有物拂下に關し輿論囂々、大小の新聞紙が擧つて黑田長官を攻撃した、併し豪勇の黑田は一向に平氣なもの、ドコを風が吹くかと云ふ顏で、一切新聞紙を眼中に置かなかつた▲時の參議公は流石に心配して、或る時黑田に新聞の記事に就いて話した、トゴロが黑田は頓と知らずの濟ましたもの、曰くオイドンは新聞は大嫌でゴアンス▲新聞紙に對する黑田の此態度は非立憲の極だ、併しソコへ行くと我寺内總督の如きは立憲的なもので、新聞紙の記事をば一切無視せぬ、世間總督に對して非立憲呼はりをするのは大間違であるのだ▲此頃は懶惰派の政治家が大分跋扈して居る、ソコで矢野龍溪の曰く哲學者に老莊の懶惰派があるが如く、政治家にも此派がある、秦の始皇帝斯なるが乃ちソレだと▲始皇百家の書を焚き、先づ人民を蔽朴無智とし、小面倒なる人智の發達を防止せんと企てしは、マンザラの無策でない、若しも彼れにして失敗の前轍を示さゞりしならば、數千年の後には必ず何人か一度試むるならんと▲韓海漁業會社が創立の運びになつた、例の大日本漁業會社が半島に事業を始めるソウだ、但し會社令は動もすれば二會社の存在を許すかドウか▲東拓金融部の整理を他の銀行と同一にするのは必要の事だ、併し幾ら整理を良くしても現在の組織ではダメだ▲半島鐵道賃率の無法に高い事は何人と雖も認むるところだ、而して如斯馬鹿な賃率を生み出したのも元はと云へば鐵道を特別會計にしたからであるのだ▲大和町邊の首輪の斷ゆたチンコロが箱の中から首を出して遠吠へを續けて居るのは健氣なる事だ、汝の忠義振りは良く主人に判かつた、汝存在の意義はヨク世間に判つた、今の分なら進退伺を出すには及ばないぞ。

菜根譚（抄出　四）

勢利紛華不近者爲潔。近之而不染者爲尤潔。智械機巧不知者爲高。知之而不用者爲尤高。

東京電報（廿一日）

宮に於ける觀櫻會は烈風ありしため兩陛下の御臨場御見合せ遊ばされたり

▲相場電報（廿一日）　明治町西村支店着電

▲大阪期米

▲口の津港の颶風　一昨十九日口の津港に颶風起り船舶の損害多し

▲觀櫻會ご烈風　昨二十日芝…

●兩陛下の觀櫻會延期…

●長濱事務官の歸任　目下歸省中なる内務部長濱事務官は本月下旬頃歸任すべし

京城藝妓の半生（六）　清華亭 今奴

何うで斯うした勤めをする程の不仕合者が話しする程の事一つも眞面目なのがあるものですかと敷島の灰をハタいてニコリと笑ふ今奴の生國はサテモ相馬の古御所で、名の高い茨城縣猿島郡は古河の宿本名を河合はると云ふ當年二十七歳の女盛り馴み事に習ひ覺へた遊藝が斯うした役に立たうとは思ひも寄らない十五の春不圖した事の手遊から水戸の上市大工町の券番から〆太と名乗つて左褄、馴れぬ客の機嫌氣づま、取るも憂し取らねば花の數買れずと詮方なしの憂き勤めも習はうよりは慣れろとやらで苦にならずなつた其の年の十二月同地の豪商藤村善兵衛（當時四十二）と云ふ人に落籍されて其の別莊に手活の花と移し植へられたが明けてればるが十六の秋其の旦那は桐が一葉と散る夕彼の世の人となられたので、れはるは居ても用のない身となつた五百圓を涙金として紀念の品に添へて暇が出たのであつたが今奴はモー其の時から八八と云ふ惡い遊びを覺へ込んで居たので藤村家から五百圓を貰つて門を踏み出すと其の仲間の惡玉どもが食つて連れ絞つて連れで跟け回し金は元より金指輪衣裳までも質入れして夫れも皆んな取れてスツテンテンアー詰らないと眼の覺めたのは其の年の十二月、毒を食つたら皿までの捨鉢から二度の勤め、夫れも同じ所からでは醜何なんでも藤村家へも濟まず又以前の朋輩衆にも恥かしい如な氣がするので野州宇都宮へ河岸を變へ池上町の審券番から竹壽と名乗つてヘー今晩はと出ると間もなく水戸でのれ馴染みや程遠からぬ生れ古郷の古河邊りから聞き傳へて來て下さるお方もあつたが夫れは孰れも普通の客で斯うと云ふ贔屓になる人はないので心細く日を送つて居た十七の夏の初め日野町の藤壽と云ふので初めて會つたのが土地で名代の米穀問屋の藤本三太郎（當時三十三）男が好うて金持ちで加けに小意氣で金放れの宜いと云ふ好い所づくめの好男子と互ひに深く言ひ交はした。

話は變つて同券番の藝妓に梅吉と言ふのが疾うから其の竹壽の旦那藤本に岡惚つて居たのだが御縁がなくて途に思ひも掛けぬ孩兒の竹壽のものとなつたので妬けて堪らぬ所から平常から仲の善い竹壽の姉藝妓の愛助と云ふのを抱き込んで竹壽と藤本との交情へ水を差さうと企てた、如何に交情が善からうが愛助にして見れば竹壽は自分の妹藝妓だから梅吉の相談に乗るべき道理はないのだが竹壽の全盛に引き變へて自分の方が不景氣なので内心スコ妬けで居た處なので梅吉に加擔して藤本橫奪りの惡策を企らむひことゝなつた、當時愛助さんは水戸在の豪家の息子で陸軍經理部少尉吉田虎助なる人に贔負を受けて居たのであつた（つゞく）

●一緒に逃げ男を振

去十九日大連より仁川へ入港したる城津丸に便乘して上陸し新町一丁目金村旅館に宿泊せる一人の男は角野仙太郎（二八）寺町東郷旅館へ宿り居る仇な容貌の婦人は市岡まさ（二二）とて右の二人は去十八日共に手を携へ大連より驅落したる者なるが今其二人が別々の旅館へ宿り居るこそ仔細ぞあらんと一寸探りを入れて見るとまさは岐阜の生れで去四十年親の爲めにとて遠く大連の某料理店に酌婦として勤めの身となりしが持て生れし美人とて忽ち評判と成てあツちからもこツちからも身受の相談を持懸けられし仲にも大連伊勢町の東京庵事岡部五郎と今回手を取り來りし角野仙太郎との競爭は甚だ激烈なもので有たが角野は男振りは好けれども○がない處から岡部の方では山程も○の誘連がきくてど迚逐に岡部に落籍さるゝ事と成たのは昨年の暮頃とか夫れより岡部の喜色滿面に引替角野はあつたら戀のならざるより落膽したものゝ扨てはまさも角野を餘り懸からず思ひ居たる程に何時かは乘替て遣らんと千々に心を碎いた揚句の果てがトウ〳〵二人手に手を取て大連の砂を後足でパラ〳〵と蹴て仁川へと來たものゝまさは岡部に對する未練か良心の呵責か孰れにしても岡部の許に歸りたくなり一つ旅館に一緒に宿る事を拒み角野が何と宥めたとて聞入れざるより途に別な旅館に宿る事となりしより角野は折角此處まで連れ來りし肝腎のまさが承諾せざるに業を煮し目下手詰の談判中なりと云ふを或人が物好きにも仲に入り交渉中だと云ふがドウ納まりが附くことやら何にしても敢て天下の問題にあらず

一女振り（六）

河村治平君五女　河村春江子

春江さんは長崎縣長崎市樋屋町の生れで當時旭町一丁目のた父さんの所に居らるゝのだ治平君は以前明治町で手廣く薪炭類を商ふて居られたのだが春江さんの兄さんが株式賣買土地鑛山の周旋等に手を出して失敗せられたので現の所へ引き移られたのであるとか、増田三穗さん、れ茶舗の青々園さん、河村百福號さんなぞ皆近い親戚である、十四の時渡鮮して當地の高等女學校二學年に入學し本年三月成績優等を以て卒業されたが、在學三年間只の一回も缺席した事が無く、常に級長を勤められた、思慮の綿密な世話事の好きな仲々の遣り手である、音樂と草花の栽培とに最も深い趣味を有して居らるゝれ父さんの治平君は極めて手堅い人で兄さんが失敗せられた際の如き自己所有の土地家屋を擧げて提供して負債の總てを整理された位の方だ其の感化を受けた春江さんの志操又極めて堅實である、好物がすしで嫌なのがニンジンだとか承はるが別段理由なぞはあるべき筈がない、本年十七丸ポチャの愛嬌タップリのれ娘さんである。

次は　產婆　堀越直子

●官林盜伐の公判

和歌山縣海草部西脇野村當時咸鏡北道清津城内居住土木請負業平松豊楠（四三）は知人奥谷龜松が請負工事たる蒼坪の暗渠工事の下請負を爲し其の工事に使用するの目的にて咸鏡北道茂山嶺内農商工部山林内に於て昨年十月五六日頃人夫二名をして松四十七本を盜伐せしめたりとて憲兵隊檢事され清津支部に於て懲役三月の言渡しを受け不服にて控訴中京城控訴院に於て楠裁判長寺田檢事の係りにて數回に渉り公判開廷せられ被告辯護人として高田岩本兩辯護士廿一日辯論終決せしが寺田檢事論告の趣旨は被告は憲兵隊檢事廷當法廷に於ける申立逐一相違し法廷にて盜伐の如く申立つるも盜伐の意思ありたる事明白にして第一審が有罪の宣告を爲したるは正當なれば控訴棄却の判決あらん事を求む云々と論告ありし辯護人は交々起ち罪とならざる理由を明白に約一時三十分に渉り辯論し無罪を主張し追て宣告す可しと閉廷

●金魚泥棒の判決

神代丸乘組三等水夫大分縣生金枝榮（二三）は同船事務長石橋萬爾が大阪より仁川まで託送せられたる金魚三百七十尾價格十八圓餘を航海中に於て窃取し仁川吉津方へ賣却したる事發覺し檢事局送りとなりしが廿日京城地方裁判所仁川支部にて懲役一ケ月半に處せられたり

●ハリス博士講演

歐米を巡回して數日前歸京したる同博士は在住日本人の爲めに來る日曜日の夕京城府廳上なる日本メソヂスト教會に於て一場の講演を爲す筈なり時刻及び演題は同日の紙上に掲ぐべし。因に傍聽隨意なりと云ふ

●國民中學會の新學期

東京神田駿河臺なる同會にては今回新學期を開講せるが三月中に新入會者四萬人に達せる由なり通信教授の驚くべき進歩と云ふべく教育界の爲に賀すべき事なり倘ほ同會は尾崎行雄氏指導の下に在るものなるが今回岡田文部次官新渡戸三宅和田垣浮田の諸博士を顧問に聘し講義録の組織の上に大刷新を加へ模範的通信教授の實を擧ぐる由なれば中學科を獨習せんとする者の福音と云ふべし

●仁川の告發六件

仁川京町通り道路修繕工事中車牛馬通行禁示の榜示を犯し荷身を輓入れたるより廿日告發せられたるは京町二丁目野々山彌一（一七）京町四丁目大脇龜吉（二八）宮町一丁目小只長太郎（三五）本町三丁目洪承模（三二）松觀里柳化成（四二）内洞金奐弼（四六）の六名なるが今後も通行人の爲め注意が肝要也

●遺失

仁川新町一丁目廣澤正次郎は去十九日午前十一時四十分頃海岸通り米豆取引所前より本町佐藤病院迄の間に於て金六圓五十錢入の鰐皮製財布を遺失し屆出でたり

●仁川のボヤ

二十日午後一時三十分仁川府内新龍洞三十統一戸崔錫基方の妹女が喫煙の吸殼より發火し傍に有りし新聞紙に燒移り屋根に延燒したるを附近の者大騷ぎとなし早速消止めたり

●娼妓無斷外出

龍山桃山遊廓松島樓抱娼妓金森ハル（二六）は廿日無屆外出せしに依り拘留五日のれ灸

廓のうはさ

ろも相馴れてより此方小鹿の角の束の間も忍ひ忘るゝ暇もなくいざや思ひ十寸鏡うつる妾の影痩せて草葉にれきし白露の消へなん〳〵とする妾の身を不便と察し給はらば假令逢瀬は絶ゆるとも月に一度のかりの便りは御聞かせ給はれと薄き因縁に引かへて濃かく〳〵墨の跡筆の命毛細々と切つない思ひを貴方に書き送つたのは清月樓の紅葉玉章魁にて候、されば男の方も來よ〳〵憎かろ筈なく早速書はがきに私の心は異の闇とペン先の跡も麗はしく書いて寄越したる由にてその書はがきを今も大事に寫眞ブックの間に挾みてあるとの事に候▲行く末は誰が肌ふれん紅の花、本年漸く十六才の未蕾の情趣を解せざる無垢の舞妓と申は新○郎にては無之永樂町一丁目は光昇樓の太郎にて候何れは開く花の魁の功名に熱心ている野心家も隨分數多いとの事に候此妓の體軀こそ少々チヨコマンなれども容貌の美なる點に於ては京城舞妓中の絶品殊に年に似合ぬ怜悧者同處で顔見覺へたのか無面識の客なる濟之助にまで途中にて逢へば必ず點頭なして行く愛嬌振なぞは却々可愛枝に候▲過日の本紙上廓のうはさ中清月、大樹の二樓が不廉だどゝ廓雀君は申されしがコハ樓違ひにては無之候や廓雀君の記事とは全然反對にて廓中にても最も確實に勉強なす樓は先づ清月樓を初め大樹樓等にて候廓雀君とやら惡口を叩く者、聞賣のみなさずと偶には御自身にも御遊興ひらつしやつて實地に附いて御調べ被成ては如何に候やうの節は失禮ながら濟之助御案内申候（濟之助）▲昨紙報道せられたる數樓娼妓達の噂は事實大に間違へたる所ありたれば全文抹殺下され度れ詫び旁々御詫び申上候チウ〳〵敬具（廓雀）▲數所か此の間拔け加減の助からカスが來て居るぞ返答吹鳴依つては醤油をつけて食つて終ふぞ（ハタキの助）

四ッ手網

◎新町娼妓讀み込都々逸（六）　南大門 浮世亭魚人

○第一樓 梅香　へやの梅でもひよけば香る　かほる所は愛でらるゝ

○日曜樓 万○　永の苦勞の年期も明けて　うれしい世帯の万〇う

○玉家 琴代　縮緬ゆかしいア丶玉琴よ　こゝろ引るゝ奥さしき

○第一樓支店 葉櫻　花は散つてもまだ葉櫻の　云ふに云はれぬ所がある

○第一樓 一松　かへぬ操の緑はもてど　荒風に苦勞のひとつ松

◎一口噺　化物生

宿屋「今度京城に醫師大會がある相ですが結構ですが次は何んの大會でしよう」　醫者「夫れは葬儀屋大會で其の又次は僧侶大會である」

●演藝だより

●京山若丸來る

關西浪界の巨匠京山若丸一行は廿二三日の頃壽座に乘り込み花々敷興行すべしと云ふ而して同人得意の讀物及び座員左の如し

日本の花第六號潜航艇、義士銘々傳、西郷隆盛の傳、空中飛行器、伊藤博文公の傳、梓小五郎の傳、女武士、蟹川崎工學士、鋼逸土產、春日の若子（座員）京山若吉、同若秀、同夏緑、同福若、同圓奴、若丸の六名

京山小圓を迎へ日ならずして東洋軒雷右衛門を迎へ更らに桃中軒雲右衛門を迎へたる我京城は今又茲に京山若丸を迎へんとす今年や浪通の當り年とでも云ふべく其の得意思ふべしである

●若三一行來る　御當地皆々樣御引立の御厚情が忘れられません、ナゾと口で殺して實を取る例の南驛染の怜者三遊亭若遊三の一行又候二十日より定席浪花館に於て御機嫌を伺ふべしと云ふ

●歌舞伎座　阪東鶴二郎一座の二十二日の代り狂言は前『小三金五郎』七幕切『双蝶々郭々逐引』二幕なりと

諸公債諸株券現物賣買
迅速確實に御取扱可申候
兼業
京城本町三丁目
大阪野村德七代理店　田中友吉商店

懇切無比の新方法を以て中學全科を完全に容易に獨習せしむ

大日本國民中學會

第十五回新學期（四月開講）入會の好機は今日也！最目下入會金全免 其の外各種特典あり
▲本會講義錄の優秀完全なるは既に天下に定評の存する所なるが小松原文部大臣 寺内陸軍大臣 後藤遞信大臣 ……より賛辭を受くるの光榮に接せり

講義錄 規則書 進呈（見本つき 申込次第）
東京神田駿河臺 電話本局三〇〇三 三〇〇四 振替東京二二〇〇七
會長 尾崎行雄（前文部大臣 東京市長）
講師 本會大家十三餘名

本會卒業生の一大特典
本會卒業生は都下三大學專門部特科に無試驗入學するを得べく尚ほ特志の學資を附與し士には更に進んで海外に留學せしむ。現に留學せる者五名あり。詳細は本會規則を看よ

尾州半田 中埜本家 清酒
特約販賣 仁川京城 高雄支店

價五錢●十錢●二十錢●五十錢
本舖 大阪堂島蜆橋 高橋盛大堂藥局
全國到る所の藥店に販賣す
代理店 京城本町五丁目 木下大盛堂
同 南大門通三丁目 新井藥房

保壽圓
小兒かんむしの良藥
効能 ○○○ひかん○むしけ○ち、あまし ○ひきつけ○ねあせ○ちばなれ ○かべつちをかむ○かほてあし づりなどに大効あり

飲みすぎ食ひすぎには
ビットル散
本舖 江戸堀大阪市 猪飼史郎
各藥店ニアリ
京城南大門通 新井藥房 電話一〇六八番 九〇四番 振替口座 十六番

寫眞 當方の定價限の 牛額
京城本町四丁目
河合寫眞館（贊化病院前）

村井弦齋先生名
(三)
糠精（こうぜい）
脚氣患者の必需品 常用すべき衛生食糧 代用一種 風土病を驅除す ……
京城本町三丁目
龜屋商店 電話二十七番 振替二十七番

京城本町二丁目 龍山特約所 電話一二四番 唐物藥局

神戸海上運送火災保險株式會社
資本金 五百萬圓
出張所 京城明治町一丁目（電話一五四九）

サッポロビール
アサヒビール
飲んでうまく 酔ふて快く 其上滋養に富むは（サッポロビール）（アサヒビール）の特色なり

資本金五百萬圓
東京建物株式會社京城派出所
本店 東京日本橋區吳服町一番地
派出所 京城旭町二丁目百十五番戸 電話番號 一六八一番
一、土地建物抵當貸附
一、月賦償却建物建築
建築費用は尤も薄利に請負申候又月賦償却金一千圓に對し五ヶ年とせば毎月元利金二十三圓七十九錢宛に有之候
今や好期續々直接に御申込を乞ふ

TUYOL ツヨール
淋病內服新藥
山中 松川 加藤 慶松 ……博士 ……學士 諸實驗證明
世界の醫藥兩界に誇るべき一大發見 本邦學界の名譽
○本品は藤本藥學士が多年研究の結果發見せられたるものにして加ふるに上記專門醫大家に依つて藥化學的試驗及臨床的實驗等に於て從來公知のバルサム劑に比較し殺菌力卓越し胃腸障害等の副作用を絕對に誘發せず利尿の効尤も著しきが故に泌尿器疾患殊に淋毒性膀胱炎、尿道炎、消渴及一般急性、慢性、淋病に優秀なる偉効を奏する理想的治淋劑なり
○本品は定價五百瓦、二百五十瓦、百瓦、廿五瓦、カプセル百粒、五十粒三十粒入の七種あり
▲到處有名藥舖に販賣す、說明書無料贈呈す
發賣元 東京銀座一丁目 ツヨール商會 振替貯金一九七二九番
韓國特約店 京城本町一丁目 山岸天佑堂 電話三七二番 振替貯金口座二〇三番

健胃下腹丸（けんゐかふくがん）
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九百四番千六十八番 振替口座京城十六番

韓國銀行舍宅下
仁川山根町 養雞場
●白毛冠黑色ポーランド ●ノーモルガン系黑色ミノルカ ●スミス系鳴斑プリモースロック ●クツタ系黑色オービントン ●フエリツチ系銀色ワイヤンドット ●新輸入ウーダン
右種禽種卵御希望の方には分讓す

瓦斯コークス販賣
京城黃金町高等演藝館側
酒井組 電話一一四九番

恩給
年金扶助料者 手數料一割 利一步 五ヶ年 月五厘 を立替 前引せず
京城鐘路通り東洋保險會社裏小路相思洞廿九統八戶 博多屋
上州屋支店 電話九〇五番

眼科
京城本町六丁目（元軍司令部通り）
金井眼科醫院 電話一五五六番
院主 前大韓醫院眼科部長 金井豐七

神易（九星方位）
京城南米倉町和樂園下
一心堂

今回諸事改良をなし最も便利に取扱申候
靜養所
仁川 八景園
營業主 早瀨福壽（電話五五二番）

齒科 治療
本町六丁目（旅そば橫町）
ドクトル 中村安子
女子見習募集委細面談（電話五八三）

清正釀造 政宗 正則元
上酒 小賣壹升に付三十錢
卸賣は特別割引可仕候
京城壽町三丁目
清酒 味淋 燒酎 醸造元 中井酒造場販賣部
電話百七十七番
並に日用介料品雜貨類
電話にて御注文の際は一升以上は店員をして速達致さすべく候

世界一のかぜ藥
全國藥店にあり
蛇印 アンチピリン丸
ねつ・はやりかぜ・づつう りうまちすに大効あり
藥價 五戔・十戔・十五戔・廿五戔
發賣 大阪心齋橋二丁目 丹平商會
本舖 東京日本橋通四丁目 丹平商會
代理店 京城 新井藥房 電話九〇四番 一〇六八番 振替口座京城十六番

消化と毒けし
仁丹 UINTAN ジンタン
仁丹一粒頗い、氣持
私はいつも胸に仁丹を用意します
●渡船に旅行に仁丹
▼ソレ頭痛と言ふ時
▼ソレ目眩と言ふ時
▼ソレ暑氣と言ふ時
▼ソレ疲勞と言ふ時
眞先に御役に立つは此度 仁丹
朝鮮代理店 京城南大門通三 新井藥房

●貸金 旭町二ノ一五 高橋
有給者には無擔保に低利融通可申候

嵯峨流割烹
すゞ津家
南山町一丁目 電話千五百二番

全 芙江 公州間 定期出帆 廣告
芙江發毎日午前七時公州着同午後四時
公州發毎日午前十時芙江着同午後六時
御客様の便樂用として新聞雜誌持棋盤等の備付あり
京釜芙江驛前 中條運送芙江支店

キ 四月中 滊船出帆 廣告
濟州行 海利丸 廿三日、廿五日、廿七日、廿九日
安東丸 廿二日、廿四日、廿五日、廿七日
濟州、高里、逍遙、甫座行 千葉丸 廿九日
群山行 千葉丸 廿七日、廿九日
二省丸 廿三日、廿五日
鎮南浦行 二省丸 廿九日
千葉丸 廿四日
仁川本町四丁目 合資會社 秋田商會船舶部